



大切にしたい地域との連携～部活動を通して～

10月29日(土)・30日(日)に尾倉ふれあいまつりが、30日(日)に皿倉まつりが尾倉市民センター、皿倉小学校で開催されました。今年のふれあいまつりでは、本校の放送部が司会進行を務め、美術部が作品を展示しました。また、八幡高校音楽部も弦楽コンサートを行いました。

放送部の1・2年生は緊張したと思いますが、体育大会でも堂々とした進行ができた部員のみなさんです。尾倉市民センターの職員のみなさんも喜んでおられました。

部活動として地域の行事に参加することは大きな意味があります。日頃の取組の成果の場としてこのような機会をいただくことは生徒にとって励みになります。一方で、地域の行事に参加することで、地域を知ると同時に、地域に生きる者としての自分自身の生き方を見つめ直すよききっかけとなり、地域への愛着心や郷土愛を育むことにもなります。特に、地域の祭りは、子どもたちが最も身近で接することのできる地域の人々が受け継いできた伝統的な行事といえます。

これからも、皿倉小、尾倉中として地域に関わっていくことはもちろん、地域の方々にも来校していただき、「地域の学校」としての皿倉小、尾倉中を創造していきたいと考えています。

★展示作品については、学校関係では、尾倉中学校(美術部)、中央中学校(美術部)、皿倉小学校、華頂幼稚園、春の町保育園の作品が展示されました。「おぐら市(いち)」は、尾倉まちづくり協議会、やはた少年剣道クラブ、わかくさ八幡、シルバー人材センター、わくわーく、市民センター職員の皆様がバザーに出品しました。

また、皿倉小学校6年生の修学旅行等の短歌(俳句)も展示しました。どれも素晴らしい作品で、森永校長先生にお願いして、今は尾倉中学校職員室前に掲示しています。尾倉中学校の生徒も興味をもって見てくれています。ここにも、小中一貫・連携教育のよさが垣間見えます。



校内ボランティア清掃から地域(校区内)清掃へ

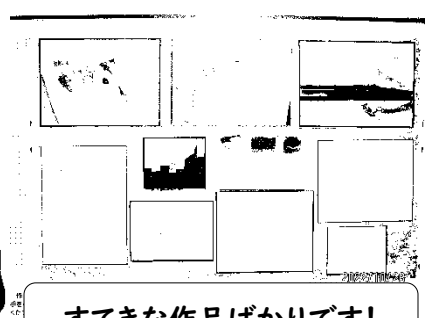
毎週火曜日は生徒会美化委員会が主催して校内清掃ボランティア活動を実施しています(掲載写真は11月1日の清掃活動の様子です)。この活動は、全校生徒から清掃ボランティアを募り、基本的に玄関前の中庭、校舎裏など普段は清掃していない場所を清掃し、校内をきれいにしようという美化委員会の取組です。

尾倉中学校では、例年ボランティア活動を実施しているのですが、昨年度までは新型コロナウイルス感染症感染防止対策から、中止になることもありました。美化委員会の呼びかけに、毎回多くの生徒がボランティアとして参加します。たくさんの生徒が自ら希望し、積極的に取り組んだことを嬉しく思います。「誰かのために自分のできることから始めよう」という気持ちで活動してくれています。この活動を通して、学校がきれいになっただけでなく、愛校心やボランティア精神等も高まっているように思います。参加したみなさん、ごくろうさまでした。ありがとうございました。まだ参加したことのない人もぜひ参加してくださいね。

中学校学習指導要領解説特別活動編から、学校を主体とする清掃活動は「基本的な生活習慣を確立するとともに、公共の精神など社会生活を送る上で必要な資質や能力などを体得することができる」「自分自身が集団生活の一員であるという自覚と責任感をもつことができる」「集団への所属感を高め、実践活動の中で、協力、親和、責任などを体得できる」といった教育的意義があると考えられます。今後は、小中一貫・連携教育の取組として、皿倉小学校・尾倉中学校・地域を一つにした校区内清掃活動へとつなげていきたいと考えています。



放送部頑張りました!



すてきな作品ばかりです!